

教育目標「自主自立の精神をもち、こころ豊かでたくましい生徒」



玉川中だより



第12号

令和5年2月28日発行

発行者 玉川村立玉川中学校長 板橋 敬史

☆卒業式に向けて

1月10日（火）に第3学期が始まったと思ったら、もう3月です。時間の流れが本当に早く、毎日が足早に過ぎ去っていきます。第3学期そして今年度も、残りわずかとなりました。

さて、玉川中学校では、2月中旬から卒業式に向けた練習が始まっています。主役である3年生は、基本的な所作から入退場、卒業証書授与や式歌、答辞の動きなど、細かなところまで丁寧に確認しながら当日に向けて準備を進めています。また、1・2年生は、巣立っていく3年生を、心を込めて送りだそうと、式典中の動きや式歌の練習に真剣に取り組んでいます。

当日は、1・2年生と教職員、そして来賓や保護者の方に見守られながら、すべての3年生が胸をはって堂々と巣立っていく卒業式になることを願っています。



☆卒業式の感染症対策について

文部科学省の方針や玉川村教育委員会からの助言をもとに、今年度は、以下の感染症対策を講じながら卒業式を実施します。卒業式の教育的意義を大切にしながら、子どもたちが主役の式にしていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

<卒業式の感染症対策（2月28日現在）>

1. マスクの取り扱いについて

(1) 生徒，教職員

場面に応じてマスクを着脱するが、式典全体を通してマスクの着用は個人の判断を基本とする。

○マスク不要の場面・・・ 入退場，卒業証書授与，式辞，送辞，答辞，など

○マスク着用の場面・・・ 式歌

(2) 保護者，来賓

○マスク着用の上で参加する。

○参加者を座席間の距離が十分に確保できる人数に制限する。

2. 感染症対策について

(1) 参加者の健康観察を徹底し、体調不良者については参加を控える。

(2) 換気や消毒などの感染症予防対策を講じる。

☆次年度に向けて

2月24日（金）に、第2回定例生徒会総会が行われました。

3年生が中心だった生徒会本部や各専門委員会、部活動や応援団の組織も、10月から2年生中心の新しい組織で活動しています。今回の総会は、1年間の活動を振り返り、成果と課題を洗い出すことで、現在の組織が母体となる次年度の活動の改善につながる大切なものでした。

総会では、各組織の委員長や部長から今年度の反省や改善策が発表され、それに関する活発な質疑応答が行われました。また、各学級の取り組みについても、学級委員長から一年間の学習への取り組みや生活態度に関する反省が出され、自らの生活や玉川中学校をよりよくするためにじっくり考える時間となりました。



☆いざ！

3月3日、6日、7日の3日間、県立高校前期選抜試験が行われます。3日は全高校で学力試験が行われ、6日と7日は、高校によって面接やパーソナルプレゼンテーションが行われます。県立高校が本命の生徒にとって、勝負の3日間です。

学校では、これまで、すべての子どもたちの進路実現のために日々の学習指導だけでなく、放課後の学習会（数学指導、5教科の受験対策問題への取り組み）や面接練習などを繰り返し行ってきました。はじめは頼りなかった子どもたちの表情でしたが、勉強会や練習を重ねるごとにどんどん表情がよくなり、自信がついてきているのだなということを感じていました。

当日は、学力試験でも面接でも、自分の力をすべて出し切り、合格をつかみ取ってほしいと思います。頑張れ、3年生！

